

# JAてんどう自己改革取組宣言

最大の強みである「総合事業」を活かし、地域とともに歩みます

## 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」

を柱とした自己改革の実践を通じ、多様な農業と地域の課題に積極的に対処し、身近で拠り所となるJAを目指し、地域農業の更なる発展に向け取り組みます。

協同組合とは、同じ目的をもった一人ひとりが力を合わせ、互いに助け合う組織です

- JAは農業者が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開していきます。
- 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結び付け、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- 農業者以外の方でも、JA各事業をご利用して頂いている方を、JAの応援団として准組合員に加入いただいております。
- 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や、多額の農業施設投資が可能です。
- いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えています。

## 営農指導事業の予算額は4,347万円となっています

主な取り組みは…

- ◆ 農業に意欲ある担い手の育成及びJAの事業利用向上を図るため、地域農業の担い手に向くTAC担当者の訪問活動を通じ、総合的な支援に取り組みます。
- ◆ ラ・フランスのブランド産地の維持・拡大を図るため、支援対策として農地の受委託事業の継続と、JGAP団体認証取得を目指します。
- ◆ ジェイエイてんどうフーズ・天童青果市場・全農食品との取引強化を図り、値決め商材の取り扱い拡大を図ります（20%以上増加）。
- ◆ 米の単年度精算、買取方式により集荷拡大に努め、ジェイエイてんどうフーズと連携し実需者の求める品質、及び数量を確保した販売戦略を引き続き行い、消費宣伝活動による顧客の確保と天童産米の販売拡大に努めます。

その他取り組み(経済事業関連)計画

- ▼ 消費者動向を的確に把握し、「王将ブランド」の銘柄向上と販路拡大への取り組み  
米穀取扱高 9億6,034万円 畜産取扱高 8億2,017万円 青果物取扱高 26億8,541万円
- ▼ 所得増大に向けて資材の低コスト化、生産コストの削減等への取り組み  
生産資材・生活物資・旅行事業供給高 17億8,396万円

肥料・農薬・米大口および出荷向上支援対策など、農協利用奨励として3,274万円還元致しました